



シリーズ・若者のひろば



# 美容師になった私

## 塩浦 諭

美容室SUBARU UN ~NATURAL~ 勤務



**「やりがいがあって楽しい毎日が送れるわよ」**

当時の私は、まだやりたいことがあったわけでもないけれど、美容に関しては興味がありました。そして私の人生を変えたのは彼女の次の一言だったのです。「私たちと一緒に美容師としてたくさんのお客様のキレイのサポートをしない？辛いのは一緒だし、一生勉強し続けなければならない。だけど、やりがいがあって楽しい毎日が送れるわよ」と。私は心の中で「やってみたい！やってみよう！」と思ったのです。憧れていた彼女のような美容師になりたい。今度は、私がお客様をキレイにし喜んでもらいたいという願望が大きくなってきました。

### ある美容師さんとの出会い

私が美容師になったきっかけは、私が通っていた美容室の美容師さんに憧れたからです。スタイリストだった彼女は一人一人のお客様に丁寧な接客をして、行くたびに楽しく会話が弾み、笑顔で顔が「くしゃ」ってなるほどとても明るい女性でした。美容室とは髪を切りに行くだけの所かと思っていたのですがそうではなかったのです。私は以前働いていた仕事に満足いかず、もっと毎日をやりがいのある日々にしたくて悩んでいました。まだ若かったので夢も希望も何の考えもなく、目の前のことをやりこなすだけの日々でした。ある時、美容師である彼女に軽い気持ちで相談してみました。私のことを自分のことのように親身になって心配して下さり、たくさんアドバイスをくれました。「どの仕事も辛いのは一緒。ただその辛さをやりがいのある辛さに変えてみると辛いことも楽しくなってくるよ」と。

### 夢がついに叶いました

以前の会社を5年で辞め、彼女のいる美容室へ面接を受けに行きました。その美容室は美容師免許を持っていなくても3年間の通信教育とスクーリング（面談授業）を通じて美容師の国家資格取得に挑戦することができます。働きながら学び、スタイリストとしてデビューすると同時に国家資格が取れてしまうというシステムでした。就職が決まり、研修

で彼女の美容室にも勉強しに行けることになり、私の憧れだったスタイリストの彼女と一緒に働ける夢がついに叶いました。最初は美容室で自分自身が働いていることが信じられず、とまどっていました。でも、職場である美容室の雰囲気はよく、まもなく溶け込め、たくさんのお客様を笑顔でお迎え、お見送りができ、充実の日々となりました。

### 「あなたのシャンプーじゃなきゃだめなのよ」

最初はアシスタント業務から始まりました。シャンプーを教わり、手荒れを経験し、毎日先輩方の「頭」を借り、少しでもお客様への対応ができるよう必死で練習しました。その結果たくさんのお客様からシャンプーの指名が入り、「あなたのシャンプーじゃなきゃだめなのよ」とおっしゃって頂けるようになりました。人に喜んで頂けることがこんなにも幸せなことなんだと実感しました。現在は美容師免許を取得し、担当のお客様も増え、楽しく仕事をしています。お客様のために常に向上を心がけて勉強しています。

### 美容師は一生勉強

先輩たちの言葉です。「美容師は一生勉強だ。勉強しなくなったらそこで終わる」と。技術者としての成長、なんでも技術の勉強は大切なことです。ひとつのスタイルでも、いろんな視点から見ると、たとえばカットも様々です。同じスタイルでもお客様の個性によって作り上げる工程は千差万別だからです。小さく細かな作業の積み重ね、大きく大胆な動きの連動、これをバランスよく配置する。固定概念にとらわれず自分の感性を磨き続けることで、技術の幅は広がりを見せます。これは一生勉強です。それから人間として成長すること。どんな素晴らしい技術でスタイルを表現できても、技術者だけの自己満足では何にもなりません。

人間としての幅の広がりには、一朝一夕には出来ません。まさに一生勉強です。

### 全国大会優勝

そういった日々の中で、第17回ケラスターゼマッサージコンクールの全国大会に出場することが決まり、毎日必死に練習を重ねました。私は本番に強い方ではないので練習量だけは誰にも負けたくありませんでした。結果、全国大会優勝を勝ち取ることができました。職場の支えやお客様からの応援に応えることができました。みんなで勝ち取った賞でもあります。今では、教育部で後輩たちの成長のサポートをしています。第18回ケラスターゼマッサージコンテストでは後輩が優勝と準優勝・3位・金賞と上位を独占しました。こんなに嬉しいことはありません。これからも美容師として技術の向上を目指し、後に続く後輩の指導者として努力していきたいと思っています。

### 社会と繋がることのできる美容師に

月に一回、休日を使って全店舗のスタッフが集まり、技術の統一をはかり、お客様に喜んで頂けるようさらなる向上を目指しています。それから2011年の東日本大震災にはスタッフとささやかな募金をしたりしました。人をキレイにし、安らぎを与えると同時に、社会と繋がることのできる美容師になりたいと思っています。



塩浦諭さんが働く美容室（高崎市）